

## 授業計画書(シラバス)

教科名	コールドワークⅡ	曜日 時間	木、金: 9:10～15:50	担当教員名	准教授 ヴァーツラフ・レザーチュ
-----	----------	----------	--------------------	-------	---------------------

	前期指導案		後期指導案	
( 年 2 間 6 回 業 日 )	4月	12 18 19 25 26	10月	/
	5月	9 10 16 17 30 31	11月	/
	6月	6 7 13 14 20 21 27 28	12月	/
	7月	4 5 11 12 18	1月	/
	9月	5 6	2月	/
方授 法業	( 講義 ・ <b>実技</b> )		( 講義 ・ 実技 )	
授 業 内 容	<p>1.コールドクラスでの課題は自由です。どんなテーマを選んでも構いません、それぞれの生徒が個々の課題に取り組みます。</p> <p>2.生徒一人ひとりに合ったアプローチ方法を一緒に考えます。それぞれの個性が異なるように、美術的観点や制作姿勢に応じて手助けをします。</p> <p>3.コールドワークと他の技術を組み合わせることも歓迎です。グライディングやホットワーク・キルンワークでのテクニックを組み合わせる機会も持つことができます。</p> <p>4.個々の技術面でのサポートをします。ex:ガラスの接着・グライディング・磨き・エンレーピングで彫刻的なデザインを掘る・サンドブラスト</p> <p>5.もちろんただガラスを削りたい、という人はどんどん削ってください。</p> <p>6.8月には富山ガラス美術館でのコールドクラス展示会を企画しています。卒制前に 同じ場所での展示ができるいい機会だと思います。昨年度は1週間に1,700人の来場者でした。</p>		/	
到達 目標	<p>コールドショップでの基本の技術を習得する。またその他の場所やワークショップで行われている技術を学ぶ。学んだ技術を芸術的表現へと活かす。講義を通してアート、工芸、プロダクト、建築などにおけるガラスのさまざまな要素について話し合いながら考える。</p>		/	
成績 基準 評価	<p>出席率、意欲的な学習態度、チームでの共同作業に対する参加意欲、積極的な授業への参加、課題の完成度。</p>		/	
留意 事項	<p>作業中は必ず防護メガネと靴、ゴム手袋をつけること。長い髪はしばること。作業中は常に自身とクラスメイトの安全を確保しながら、作業すること。特に、研磨機の安全性への配慮ができるようにすること。</p>		/	